

事業番号	14 09 06	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	中学校高等学校体育大会			担当課	部局	教育委員会事務局
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	スポーツ課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実		E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp	
		3 豊かな心と健やかな身体の育成		実施期間	S40 ~	

### 1 事業の概要

目指す姿	学校教育の一環として行われる中学校体育大会・高等学校体育大会の開催経費や参加経費に対して助成することにより、心身ともに健全な生徒の育成を目指す。		
現状	<input type="checkbox"/> 全国高等学校体育大会など10大会に共催負担金を交付している。 <input type="checkbox"/> 全国中学校体育大会など4大会に出場する選手に対して派遣費補助金を交付している。		
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他( )	【左記の説明、根拠法令等】 スポーツ基本法	

事業内容	① 成果目標(H24)							
	<input type="checkbox"/> 中学校・高等学校と共催する大会は中学校体育連盟、高等学校体育連盟と密接に連携をとり、円滑な大会運営をする(大会の共催負担金10大会) <input type="checkbox"/> 全国大会・ブロック大会は参加選手に助成することにより保護者の経済的な負担を軽減する(大会への選手団派遣費補助4大会)							
	② 事業内容 (単位:千円)							
		項目	実施方法	H24事業実績		H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)
		大会の共催負担金	負担金	中学校・高等学校体育大会のブロック大会・県大会・新人大会の共催負担金	64,909	61,745	13,735	
	大会への選手団派遣費補助	補助金	中学校高等学校体育大会全国・ブロック大会に参加する選手の派遣経費への助成	78,350	72,048	93,454		
	団体の運営費補助	補助金	長野県中学校及び高等学校体育連盟の運営に係る経費への助成	3,343	3,343	2,304		
			合計	146,602	137,136	109,493		

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	現況(見込)	H24			H25目標
		当初予算	138,314	108,821	146,602	109,493			目標	成果	達成状況	
		補正予算			△3,751		大会選手派遣者数	4,000人	4,300人	4,369人	達成	4,100人
		合計(A)	138,314	108,821	142,851	109,493						
	Aの財源	国庫支出金	5,231	2,000	5,592	1,000						
		県債										
		その他( )										
		一般財源	133,083	106,821	137,259	108,493						
	決算額(B)	118,626	98,648	137,136								
概算人件費	職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00							
	概算人件費(C)	16,634	16,516	16,516	16,516							
	概算事業費(B(A)+C)	135,260	115,164	153,652	126,009							

目標に対する成果の状況	・大会運営、選手の派遣ともスムーズに実施され、生徒に日頃の練習の成果を発揮する機会を与えることができた。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・開催経費に対する公費負担の軽減を図る上で、大会運営の一層の効率化や企業協賛金の拡充などを検討する必要がある。 ・高体連においては全国高校総体開催がブロック制となり、9年に一度全国大会を開催することになった。その為自主財源の確保の手立てを検討し、H25年度より県大会の参加料を値上げすることとなったが、円滑な大会運営が行われるよう引き続き事業の継続が必要である。